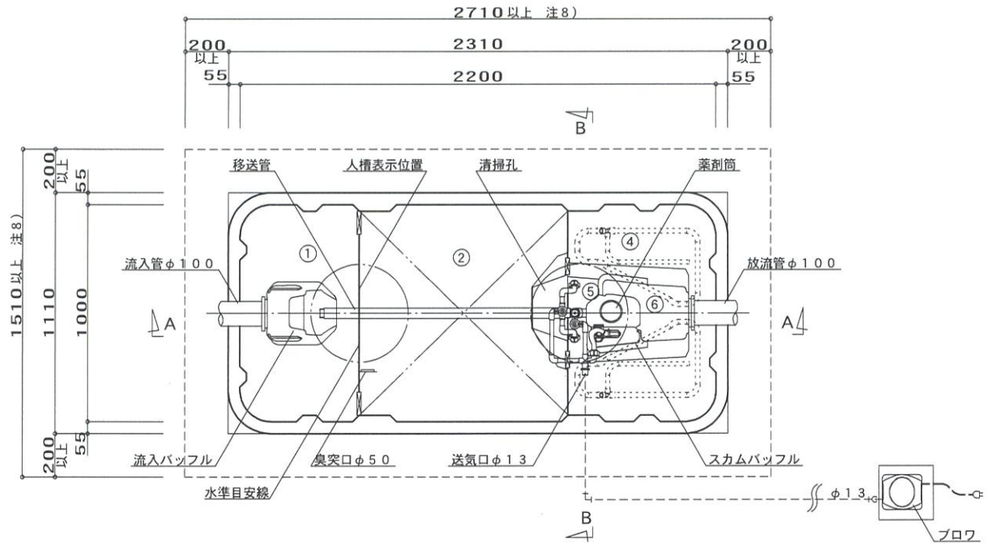
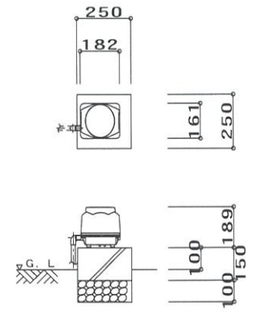


平面図　1／20

一般事項	
コンクリート	Fc＝21N／mm2
鉄筋	SD295
定着及継手	40d
開口補強筋	D13シングル
地業	砕石又はRC　40～0



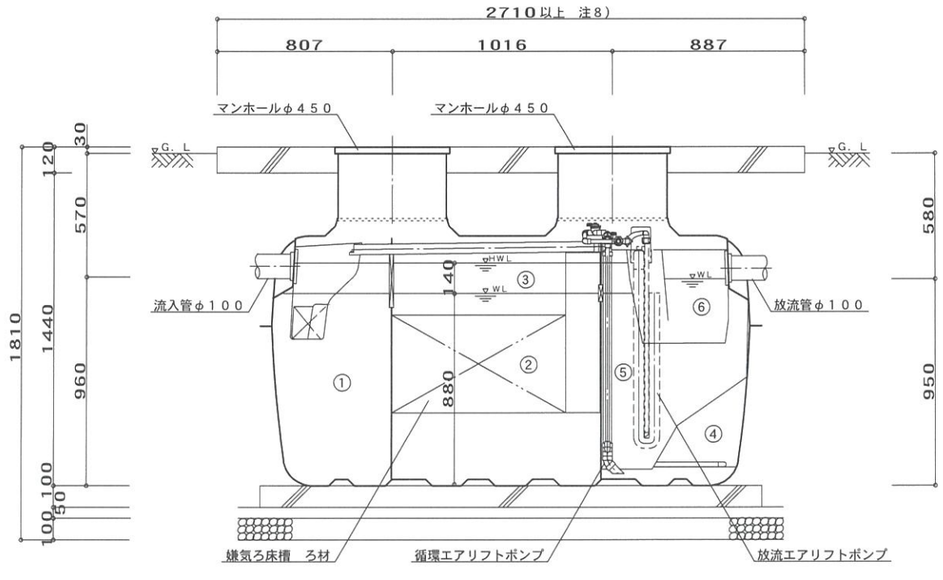
※基礎寸法は参考値とする

ブロワ　平・断面図　1／20

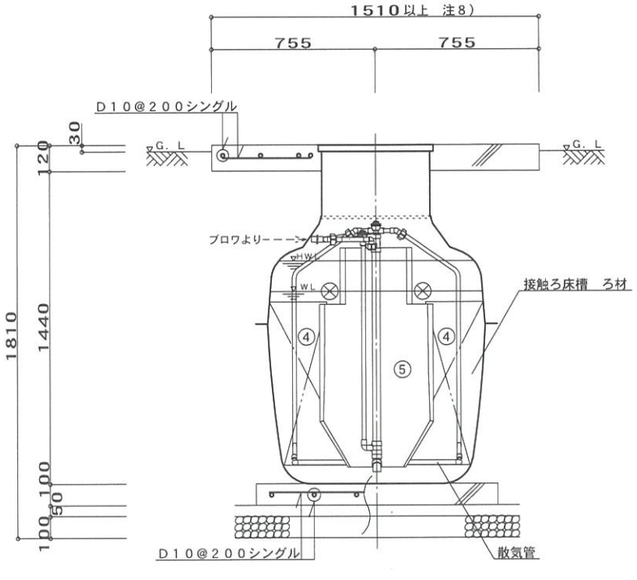
仕様表					
設計番号					
型式名称	CB－7型			※吊上目安重量：140kg	
処理対象人員	7人				
汚水量	1．40m3／d				
流入水質	BOD200mg／L	COD100mg／L	T－N　45mg／L	SS　160mg／L	
放流水質	BOD　20mg／L	COD　30mg／L	T－N　20mg／L	SS　15mg／L	
①	沈殿分離槽		有効容量	0．405　m3	
②	嫌気ろ床槽		有効容量	0．764　m3	
③	ピークカット部		有効容量	0．259　m3	
④	接触ろ床槽		有効容量	0．333　m3	
⑤	処理水槽		有効容量	0．171　m3	
⑥	消毒槽		有効容量	0．021　m3	
	総容量		有効容量	1．953　m3	
機器装置仕様					
嫌気ろ床槽ろ材（網様円筒状）	PPまたはPE				
接触ろ床槽ろ材（網様ロール状）	PPまたはPE				
ブロワ	80L／min		φ13	連続運転	1台
槽本体	FRP				
パイプ類	PVC、PPまたはPE				
マンホール	PPまたはFRP				
消毒剤	固形塩素剤				

配管仕様	
露出配管（ブロワ廻り）	VP
土中配管	φ40以下～VP・φ50以上～VU
槽内配管	メーカー仕様

注1）戸建て住宅の駐車場（車両総重量2t以下）用に限る。
注2）浄化槽は駐車場の下に設置すること。
　（車が通過する場所は車両重量の他、走行による衝撃荷重がかかるので避けること）
注3）車両等の重量に耐える地盤（長期許容地耐力が40kN／m2以上）に設置すること。
注4）最高地下水位1m以下の場所に設置すること。
注5）積雪高さ1m以下の場所に設置すること。
注6）浄化槽はマンホールが車両の中央になるように設置すること。
注7）スラブコンクリートが地盤沈下しないように良質土で水締めしながら埋め戻しを行うこと。
注8）スラブコンクリートの寸法は土肩に200mm以上かかる大きさとし、掘削する大きさに合わせて変更すること。
注9）スラブコンクリートには必ず開口補強筋を入れること。
注10）スラブコンクリートは駐車場の土間コンクリートと一体で打設すること。
注11）スラブコンクリートの鉄筋と土間コンクリートの鉄筋は、必ずラップ（40d）すること。
注12）機器電源は単相100Vとする。
注13）図中の”G．L”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注14）浄化槽からブロワまでの距離は5m以内とする。
注15）流入管・放流管、同接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注16）臭突管工事、同接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
　臭突管接続する場合は嵩上げ必須となります。
注17）ブロワ付近にコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
注18）岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は浄化槽工事範囲外とする。



A－A断面図　1／20



B－B断面図　1／20

施工高さ範囲					
MH	項目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易ロック	最小寸法	0H	G．L－260	G．L－270	1500H
	最小寸法（嵩上付）	50H	G．L－320	G．L－330	1560H
	最大寸法（この図面）	300H	G．L－570	G．L－580	1810H
ボルトロック	最小寸法	100H	G．L－390	G．L－400	1630H
	最大寸法	300H	G．L－590	G．L－600	1830H

注）製品全高は、製品規格で＋10、－20mmの公差があります。
　流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

名称	CB－7　（戸建住宅駐車場・支柱レス）鹿児島仕様			
	標準図			
設計年月日	設計	検図	図番	縮尺
2026・01・	荒木	戸苅	CB007NDF100（300H）	1／20
FujiClean	フジクリーン株式会社			